

Peace

Through Service

奉仕を通じて平和を



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

11 2012-2013
November
vol.5

国際ロータリー 第2660地区
2012-2013年度ガバナー

高島 凱夫

2012-2013年度 RI第2660地区方針

「育もう未来の力を ～飛躍～」

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2012-2013

11 2012-2013
November
vol.5

CONTENTS

「ロータリー財団月間」「世界インターアクト週間」に寄せて	1
ロータリー財団月間によせて	2
2012-2013年度 世界インターアクト週間にちなんで	4
地区ロータリー財団セミナー報告	5
青少年交換来日学生一泊研修 2地区(D2660・D2680)合同オリエンテーション報告	7
2012-2013年度のための地区協議会 会計報告	8
ロータリー財団情報	9
災害支援プロジェクト報告(第17回)	10
米山奨学委員会 / ロータリー財団	11
2012年9月度 会員数・出席報告	12
敬弔 / お知らせ	13
文庫通信	14

「ロータリー財団月間」 「世界インターアクト週間」に寄せて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫



1917年にアーチ・クラフが「世界に何か良いことをしよう」と呼びかけ設立された“基金”がロータリー財団(The Rotary Foundation ; TRF)です。この財団は、ほぼ全てのロータリアンの献身的な財団寄付金を運用し、私達が日頃行なっている奉仕活動に、補助金というかたちでフィードバックをしています。R財団は「寄付金集金マシン」でないことを、この機会に充分把握していただきたいと思います。

さて、R財団は創設100年を前に、大きく変化しようとしています。2013～2014年度から全世界のロータリークラブで開始される新しい補助金制度=Future Vision Plan(FVP; 未来の夢計画)です。現在、地区財団委員会、FVP委員会におきましては、来年7月からこの新しい補助金制度が、各クラブでスムーズに導入できるように、セミナー開催など献身的な努力をさせていただいています。TRFからの書類も、まだ二転三転していて、その都度大量の書類の整理に委員の皆様方が必死に取り組んでいらっしゃいます。各クラブにおかれましては、今後開催されますセミナーなどにご出席賜り、2013年2月23日に予定されていますクラブと地区との覚書(MOU=Memorandum of Understanding)を締結、2013年7月から、新しい補助金を使用した奉仕活動を多くのクラブが開始できることを期待いたしています。

第2660地区のロータリアンすべてが、財団の本来の目的、FVPなどを十分に理解され、補助金を十分に活用できることを願っています。

インターアクト・クラブ(IAC)は、奉仕と国際理解に貢献する青少年のための、ロータリー・クラブ(RC)提唱の国際的団体で、高校に在学中の生徒、または年齢12～18歳までの青少年が入会できます。Interactという名は「国際的活動」International Actionを意味します。1962年国際ロータリー理事会によりインターアクトプログラムが宣言され、1962年11月5日、アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により、メルボルン高校IACが誕生。この世界最初のインターアクト・クラブは23人でスタートしました。日本最初のインターアクト・クラブは、1963年6月27日に結成された、宮城県の仙台育英学園高校IACです。提唱は仙台東RCで、100人を超える人数で誕生し、日本第1号のこのIACは、当時、世界最多の会員数を擁していました。

ということで、RIは11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」と定め、ロータリアンとインターアクターがともに国際的な活動に参加するよう呼びかけています。当地区のインターアクト・クラブは、大阪桐蔭(提唱クラブ:大東RC)・浪速(大阪帝塚山RC)・金光八尾(八尾RC)・四天王寺(大阪天王寺RC)・清風(大阪南RC)・相愛学園(大阪RC)の6校が活動を続けています。今年度のインターアクト年次大会は、浪速高校インターアクト・クラブが担当し、11月18日(日)に開催されます。

ロータリー財団月間によせて

ロータリー財団委員会 委員長
溝畑 正信 (東大阪東RC)



今こそ財団を学ぶ時

今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団月間である11月に、財団に焦点を当てた卓話やプログラムを是非行なって頂きたいと思います。

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン 2012-13年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、

1. ポリオを撲滅する(End Polio Now)。
2. 未来の夢計画を整える。
3. 財団の教育的プログラムと人道的プログラムへの参加を通じて、世界に平和を育む。
4. ロータリー財団への寄付を全ロータリアンに願います。
5. 財団の資金をしっかりと守る。

としています。

*ポリオ撲滅に関して、私たちが知っておくべきことはなんですか？

今年の世界のポリオ発生件数、2012年9月25日現在、150件です。(昨年と同時期は400件、1年間の総発生件数は650件です)。

内訳はナイジェリア90件、パキスタン37件、アフガニスタン18件、チャド5件。インドは0件です。

25年間にわたる努力が実り、ロータリーと協同団体は、ポリオの撲滅にあと一歩というところまでたどり着きました。しかし、完全な撲滅を果たすには、今、すべての力を振り絞らなければなりません。私たちは、歴史的な機会を迎えています。

*「未来の夢計画」とは何であり、クラブにとって何を意味しますか？

2013-14年度から、未来の夢計画が世界中で導入されます。本年度は地区やクラブも、未来の夢計画に移行する計画年度です。

長い間、国際親善奨学生に代表される教育的プログラムがその主流でしたが、次第に人道的支援がロータリー財団の主流になってきました。

1965年から2000年までの35年間で1万件であったマッチング・グラントは、2000年から2004年の4年間で1万件を超えました。この人道的分野でのマッチング・グラントの爆発的成長は、ロータリー財団が取り組むべき問題点を浮き彫りにし、その長い歴史の中で最も革新的な変革「未来の夢計画」誕生の、一つの要因となりました。

少額プロジェクトの増加は、補助金を上回る経費とともに膨大な事務量を生じ、あふれる書類に、人的対応が追いつかなくなったのです。さらに、小さなプロジェクトでは、せっかくの奉仕も持続的効果が望めないなど、多くの問題点が指摘されました。

そこでロータリー財団は2005年、「Future Vision Plan-----未来の夢計画」委員会を発足させ、ロータリー財団100周年(2017年)を迎えた時、財団がいかにあるべきか、の検討を始めました。そのコンセプトは、
・プログラムと運営の簡素化
・ロータリー財団が自分たちの財団であることを自覚し、身近な存在とすること
・世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供することなど、「素晴らしい財団」とするための骨格を決めました。

プログラムの簡素化には、6つの重点分野を設定しました。そしてプログラムを

1. 平和と紛争予防・紛争解決
 2. 疾病予防と治療
 3. 水と衛生
 4. 母子の健康
 5. 基本的教育と識字率向上
 6. 経済と地域社会の発展
- に集約したのです。

クラブと地区は、新地区補助金とグローバル補助金の2種類の補助金制度を通じて、地元や海外での奉仕活動のような人道的プロジェクト、また奨学金や職業

研修チームなどの教育的プロジェクトを実施することができます。

新地区補助金の規模は、金額的には従来のおよそ2.5倍になり、地元のニーズに応えるロータリーらしい、あるいはロータリーの名にふさわしいプロジェクトが可能となるでしょう。

グローバル補助金は、6つの重点分野につながる人道的かつ持続性を持った素晴らしい大型プロジェクトが期待されます。

クラブの「未来の夢計画」に沿った新たな参加と挑戦、そしてその成果が待たれます。

***従来の財団の教育的プログラムと人道的プログラムはどうなるのですか？**

マッチング・グラント、地区補助金(DSG)、国際親善奨学金、研究グループ交換などのプログラムは、2012-13年度で終了します。2013-14年度からはグローバル補助金または新地区補助金(DG)を利用して奨学生の派遣や人道的プロジェクトを実施できます。国際親善奨学金や研究グループ交換(GSE)という名称はなくなり、金額や応募の時期が柔軟になります。グローバル補助金の場合にはWF(国際財団活動資金)からのマッチングが受けられますので、今までより大きな金額を利用することができます。ロータリー平和フェローシップは2013-14年度以降も継続します。

***寄付はどのようになりますか？**

年次基金は、全世界で実施されるロータリー財団の補助金プロジェクトや活動を支援します。ご寄付は、ポール・ハリス・フェロー 認証の対象となります。

世界各地で「重点分野」の活動を実施するために、年次基金への皆さまからのご寄付が必要とされています。重点分野は、「平和と紛争予防／紛争解決」「疾

病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」です。年次基金へのご寄付は、重点分野、WF(国際財団活動資金)、シェアのいずれかに指定することができます。ご寄付はすべて、人々を助けるロータリーの奉仕プロジェクトに役立てられます。

ポリオ・プラス基金は、ポリオのない世界のため、ロータリーのポリオ撲滅活動につかわれます。ご寄付は、ポール・ハリス・フェロー 認証の対象となり、ジョン・ヒューコ事務総長が参加するポリオ撲滅自転車レースへの寄付の選択肢もお選びいただけます。1回のご寄付または自動定期寄付にお申し込みください。

恒久基金は、ロータリー財団の確かな明日を築くためのものです。恒久基金はロータリー平和センターも支援しています。ご寄付は、ベネファクター 認証の対象となります。

恒久基金に寄せられた寄付は、恒久的に保存されます。この基金の投資収益の一部は、財団の確かな明日を築くために、年次プログラム基金を補い、ロータリーの最優先活動の支援に役立てられます。恒久基金へのご寄付は、財団の明日を支え、寄付者が支援するさまざまな活動のために活かされています

承認された財団補助金

財団から承認された特定のプロジェクトに現金を寄付することができます。寄付の際には補助金番号が必要となります。ご寄付は補助金プロジェクトに送られます。

***資金はどのように使われているのですか？**

財団年次報告書をご覧ください。

***「ロータリー財団についてもっと知るために、クラブは何をしているか」今こそ財団を学ぶときです。**

2012-2013年度 世界インターアクト週間にちなんで

インターアクト委員会 委員長
中野 秀一 (大東RC)



平素よりインターアクトの活動にご理解とご支援いただいている高島Gはじめ地区内各RCの皆様には心から御礼申し上げます。

さて、RI理事会は「RCとIACを国際規模の活動に参加させる事」を奨励するために11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」として定めています。今年度の当地区海外研修は8月に第3510地区台湾の高雄において3泊4日で開催をいたしました。

今年度の海外研修は例年通りの奉仕と国際理解を深める活動に、生徒達の自主・自立性を尊重する事と指導力の更なる養成に重点をおき、生徒達による海外研修プログラムの企画・立案と、現地インターアクターと英語による意見交換を行いながら国際感覚溢れる将来の日本を支える人材創りとなる事を目的として活動を行いました。

第2660地区において活動しているIACは現在のところ6校です。新世代奉仕部門の一部門として存在して

いるIACですが、今後IACからRACへ、そしてRACからRCへと縦世代の繋がりを実現していく為にも、IACの価値ある活動内容を各校・各提唱クラブ関係者が深く理解しあう事は勿論の事、地区内各RCや地域社会・企業・自治体など多くの方々へ広報活動を行いながら、支援の継続と拡がりにつなげる事が重要であると考えます。今後の日本においては益々進むであろう少子化と経済環境のグローバル化により、変革を余儀なくされる時代が既に到来しています。世界の平和・アジアの安定・日本の繁栄を次世代へと繋げていく為にも、私たちロータリアンには時代の継承者としての責務があり又その役割を全う出来る資質を持ちあわせているのではないのでしょうか。長期に亘る活動となりますが、皆様にはIACの活動に対しまして物心両面によるご支援と、「国際感覚」と「指導力」そして「愛国心」溢れる、日本の未来を支える人材創りに、今後もご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区ロータリー財団セミナー報告

ロータリー財団委員会 委員長
溝畑 正信 (東大阪東RC)

日 時:2012年8月25日(土)14:00~17:00
会 場:大阪YMCA 会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーがG主催で開催されました。クラブの会長、ロータリー財団委員長、FVP担当実務者の皆様を対象に、高島凱夫G、地区ロータリー財団部門顧問横山守雄PG、災害支援プロジェクト委員長岡部泰鑑直前G、日本ロータリー平和センター支援委員会常任委員大谷透PG、地区研修委員会サブリーダー若林紀男PG、同岩田宙造PG、福家宏GE、泉博朗GN、地区研修委員会、AG、AGEの皆様、国際奉仕委員会小林哲委員長、社会奉仕委員会初木賢司委員長など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は村橋義晃地区代表幹事が務められました。

高島凱夫G

ロータリー財団は、本年度から“Future Vision Plan=FVP”の計画年度に入り、今年度中に、各クラブは地区補助金を使っての奉仕プログラムの立案をして、申請をしなくてはならない、地区としても、広く多くのクラブが、この新地区補助金を使って、多くの有意義なプログラムが出来上がるよう、様々な方策を考えていくつもりであり、今年度は、現行の地区補助金制度も並行して申請を受け付けており、是非、申請をしていただきたく存じます。

皆様方にご寄付いただいたお金を、いかにうまく各クラブの奉仕プロジェクトにお使いになるかを再確認していただき、財団活動の意義を少しでもご理解下さいますようお願いいたしますと、ご挨拶されました。

財団部門顧問 横山守雄PG

FVPは、従来のプロジェクトとそんなに変わらない、決して難しいものではない、新地区補助金は従来の社会奉仕活動、グローバル補助金は、従来の国際奉仕・WCS活動とそんなに変わらない、クラブが積極的に取り組んでゆくことによってクラブの活性化につながってゆくものと考え、難しく考えないで、やれるものから取り組んで頂きたいと、ご挨拶されました。



溝畑正信ロータリー財団委員長

ロータリー財団 未来の夢計画 新補助金制度理解のためにというタイトルで、財団目標の、ポリオ撲滅、未来の夢計画の準備、財団の教育的プログラムと人道的プログラムへの参加を通じて世界に平和を育む、全ロータリアンにロータリー財団への寄付を奨励、財団の資金を守る、に沿って話しました。

未来の夢計画は、ロータリーという組織全体に有益であるという考えの下に立ち上げられたもので、新地区補助金、グローバル補助金を通じて、より良いプロジェクトが実施されれば、地域社会により大きな影響を与えることができる。ロータリーの公共イメージも高まると考えられる。そうなれば寄付の増加、クラブの活性化、より良いプロジェクトへとつながる、と話しました。

寄付増進プログラム+ポリオプラス部門

今西敦之 財団情報・増進・ポリオプラス委員長は、寄付の種類<年次基金および用途指定寄付、恒久基金>、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となることについて話し、財団への寄付増進のお願い、ロータリーカード入会のお願い、1985年以来、ポリオの発症数は99%減少し、年間35万件だった当初と比べ、2011年にはわずか650件になった、現在野生ポリオウイルスは、4か国(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)のみに常在、このうちインドではポリオ無発症の状態を維持している、残る1%の、容易でないポリオ撲滅運動にご協力をお願いしますと話しました。

財団法人道的補助金部門

吉川仁育 財団法人道的補助金委員長は、ロータリー財団の人道補助金、これにはマッチング・グラント(主に国外事業に利用される)、および地区補助金(主に国内事業に利用される)があるが、主に現行の地区補助金について使用状況、申請の条件、申請書の記入方法を説明しました。近年、多くのクラブがこの補助金制度の利用によって活発な奉仕活動が実施されています。

地区ロータリー財団セミナー報告

教育的プログラム部門

北埜 登 財団奨学金・学友委員長は、現行の制度での2011～12年度国際親善奨学生(すでに留学を終えた奨学生)、および2012～13年度奨学生(今年度出発した留学生)について、そして、新しい補助金制度の下での奨学生、すなわち地区補助金による地区奨学生、グローバル補助金によるロータリー奨学生について、現国際親善奨学生との相違を説明しました。

田中 義久 研究グループ交換委員長は、GSEプログラムは、国際ロータリーのプログラムであり、二つの国のそれぞれのチームが訪問して、それぞれの国で、職業研修と文化交流を行うことを目的としたプログラムであること、そして、具体的な地区GSE委員会の活動、GSEプログラム受け入れ実行委員会について説明しました。今年度は、ドイツ・ハンブルクチームとの交流であり、現行制度における最後の活動となります。

FVP(未来の夢計画)

宮里 唯子 財団FVP委員長は、FVP新補助金モデルへの移行 というタイトルで、FVPとは新しい補助金モデルであり、(新)地区補助金、グローバル補助金、パッケージングラントがあること、FVP導入の理由と目的、新しい補助金と活動、シェアシステム、さらに当地区での地区補助金申請要項、グローバル補助金について、グローバル補助金申請要項、クラブの覚書(MOU)、パッケージングラントについて、さらに、2012-13年度即ち計画年度の準備について話しました。



質疑応答

前もって頂いていた質問には、当日お答えし、また当日の質問には時間の制約上、後日お答えしました。

東日本震災復興支援

岡部 泰鑑 災害支援プロジェクト委員長は、当地区において、昨年6月に災害支援プロジェクト委員会を立ち上げ、支援プロジェクト数44件、支援総額37,387,200円(6月22日現在)を実施できたこと、本年度も引き続き災害支援活動を継続するために、災害支援活動資金へのご支援をお願いしたい、東日本大震災への支援は、数年に亘り行われなくてはならない大きな事業であり、さらに他の災害支援に対して地区の方針を模索し、実践したいので、是非ご支援をお願いしたい、と話されました。

日本ロータリー平和センター支援

大谷 透 日本ロータリー平和センター支援委員会常任委員は、ICU東ヶ崎記念ダイアログハウスに支援協力募金をお願いをされました。国際基督教大学(ICU)は、世界で8か所あるロータリー平和センターのある大学の一つで、アジア圏で唯一の平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター(修士課程)が設置されている学舎です。世界平和と人類の幸せ、ロータリー平和フェロウシップ制度の意義をご理解ください、と話されました。

講評・閉会挨拶

福家 宏 GEは、昨年度まで、地区財団委員長、FVP委員長を務められ、また災害支援プロジェクトメンバーでもありました。各クラブにおかれては、今年度で最後となる現行の財団プログラムにしっかり取り組み、そして新しい補助金制度の計画を立てられ次年度に備えて頂きたい、また、引き続き東日本大震災の支援にご協力を、また、ICU東ヶ崎記念ダイアログハウスに支援のご協力をお願いされて、講評と閉会ご挨拶とされました。

なお、地区ロータリー財団セミナーの詳細は、地区ホームページをご覧ください。

青少年交換来日学生一泊研修

2地区(D2660・D2680)合同オリエンテーション報告

青少年交換委員会 委員長

角谷 真枝 (茨木西RC)

日 時:2012年9月29日(土)～30日(日) 1泊2日

場 所:神戸市北区「しあわせの村」内「たんぽぽの家」

参加者:第2660地区 来日学生7名、学友4名、地区関係者5名、第2680地区 牛丸鐵太郎G、大室GE、来日学生6名、学友4名、地区関係者11名

毎年8月に世界各国から青少年交換学生が来日します。来日後すぐ慣れない高等学校での学生生活が始まり、ホストファミリーでの家庭生活を経て、1か月たちますと色々と問題点が生じてきます。この早い時期に問題点を解決できる方法を皆で考え、プログラムを成功させていきたいと、5年前から隣接3地区(D2660・2680・2640)合同でオリエンテーションをおこなってきました。本年度は、丁度大型台風16号が近畿地区接近というニュースの中、第2680地区(兵庫全域)が主催で、当地区との2地区合同でおこなわれました。

例年この研修は日本文化体験ということで、お寺での研修が多かったのですが、今回は日本文化体験とスポーツのできる場所ということで、神戸北区の「しあわせの村」でおこなわれました。研修内容として、1日目は習字と沖縄空手の実習体験、2日目は予定していた屋外でのスポーツは台風の為取り止め、部屋の中で大縄跳びをして、ストレスを解消したようです。習字実習では、学生達全員筆使いが上手で驚きました。第2680地区の牛丸Gも腕まくりして指導にあたられていました。沖縄空手では座位、立位、正拳つき、蹴り、受け、棒術などを実習し



ました。フィンランドからの来日学生サラさんがあまりにも様になっているので、聞くとフィンランドで空手をならっていたということです。他にカリフォルニアのアンドレ君は柔道をしています。

一日目の夜は、来日学生それぞれ担当の学友生がカウンセリングをおこないました。来日生全員が温泉入浴を希望したのも驚きでした。帰宅時は風が強くなりましたが、地区委員がそれぞれ学生達をホストファミリーへ無事送り届けました。

学生達は今回の研修を終え、しあわせな気分になってくれたことを祈ります。ご尽力頂きました関係者皆様有難うございました。



2012-2013年度のための 地区協議会 会計報告

代表幹事

村橋 義晃 (大阪中之島RC)

開催日:2012年4月28日(土)

会場:大阪国際会議場

ホストクラブ:大阪中之島ロータリークラブ

【収入の部】

会員数	負担金(①)	クラブ数(②)	収入額(①×②)
29名以下のクラブ	90,000円	26	2,340,000円
30名以上のクラブ	110,000円	57	6,270,000円
合計		83	8,610,000円

【支出の部】

項目	内訳	金額	項目別小計	内訳
会場費	会場	2,785,600円		本会議場・部門別会場他
	音響・照明	1,113,525円		本会議音響・照明
	お茶	467,655円		部門別用ペットボトル
	小計		4,366,780円	
会合費	室料等	132,382円		実行委員会
	小計		132,382円	
印刷費	プログラム	1,061,361円		当日配布用
	資料その他	23,857円		資料コピー代
	小計		1,085,218円	
記録費	記録冊子	1,727,229円		添付DVD含・写真等
	小計		1,727,229円	
謝礼金	講演料	50,000円		講師料
	小計		50,000円	
人件費	給与等	1,156,990円		事務局給与
	小計		1,156,990円	
雑費	振込手数料	13,335円		振込料
	WEB手数料	18,900円		WEB料
	傷害保険料	27,200円		傷害保険料
	消耗品	2,835円		その他
	小計		62,270円	
合計			8,580,869円	

収入の部(①)	支出の部(②)	残高(①-②)
8,610,000円	8,580,869円	29,131円

2012-13年度のための地区協議会会計決算を平成24年10月11日に大阪中之島ロータリークラブ事務局にて開催し、帳票類、領収書等を精査した上で、上記の通りであることを報告します。

平成24年10月11日

実行委員長 前田 隆司
協議会幹事 安達 昌弘
協議会会計 松任 保勇

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長 溝畑 正信 (東大阪東RC)

●お知らせ

1. 【ロータリー財団地域セミナー・大口寄付者感謝午餐会】

11月のロータリー研究会の付随行事として、ロータリー財団地域セミナー及び大口寄付者感謝午餐会が開催されます。参加される場合は地区を通じてお申し込み下さい。

11月26日(月) ロータリー財団地域セミナー

11月27日(火) 大口寄付者感謝午餐会

会場: 「ホテルグランパシフィック LE DAIBA」(東京都港区) <http://www.grandpacific.jp/>

2. 【ロータリー財団学友会・全国大会】

日本学友会は、2013年度の「未来の夢計画」本格導入を控え、学友会の今後のあるべき姿、新制度における奨学生について財団と協力していかに進めるか等を討議するため、11月25日(日)14:00より、「日本ロータリー学友会」全国大会を開催致します。

11月25日(日) ロータリー財団学友会・全国大会

会場: 「如水会館」www.kaikan.co.jp/josui

3. 【新補助金制度のウェビナー】

11月13日(火)9:00より「グローバル補助金」のウェビナーが開催されます。ウェビナーとは、インターネットを通じて行われるLIVEのセミナーです。グローバル補助金に関心のある方は是非ご参加下さい。

●新補助金制度(未来の夢計画)

1. 【最新資料(重要)】

2013年7月の全面実施に向けての資料がウェブサイトを更新されました。

- ・「授与と受諾の条件(2013年7月～)」受領資格の指針、制約事項、申請方法が掲載された基本資料のひとつ。
- ・「地区ロータリー財団セミナーの手引き」地区の研修の際に使用することを目的に作成された資料。
- ・「補助金管理セミナーの指導者用手引き」クラブの参加資格認定に必要な補助金管理セミナー指導者用手引き。
- ・「地区の参加資格認定:覚書(MOU)」地区の補助金の活用にあたっての財務と資金管理の要件。
- ・「クラブの参加資格認定:覚書(MOU)」クラブの補助金の活用にあたっての財務と資金管理の要件。

2. 【地区の参加資格認定】

10月から2013-14年度のための地区参加資格認定手続がオンラインで始まり、2013-14年度福家宏がバナー、2014-15年度泉博朗がバナー、2013-14年度溝畑正信地区財団委員長は、手続きを完了し、資格認定を得ました。

3. 【クラブの参加資格認定】

クラブの参加資格認定は、補助金を管理するための適切な手続きをクラブが備えていることを確認するためのステップです。参加資格を得た地区が地区内クラブを認定します。

<クラブの参加資格を得るために>

1. 会長エレクトまたはクラブが指定した代表者が、補助金管理セミナーに出席する。
※「補助金管理セミナーの指導者用手引き」「補助金管理の手引き(近日中に更新予定)」をご活用下さい。
2. 「クラブの覚書(MOU)」を読み、これに同意し、クラブ会長と会長エレクトが署名したMOUを地区に提出
3. 地区が定めた追加の資格要件があれば、それに同意する。

●ポリオ・プラス

【ポリオ症例数】

2012年9月25日現在のポリオ症例数です。

	2012年 1月1日～9月25日	2011年 1月1日～12月31日
アフガニスタン	18	80
パキスタン	37	198
ナイジェリア	90	62
インド	-	1
ポリオ常在国以外	5	309
世界合計	150	650

*現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

●新補助

教育的・人道的プログラム(2012-13年度まで)

【新補助金制度への移行】

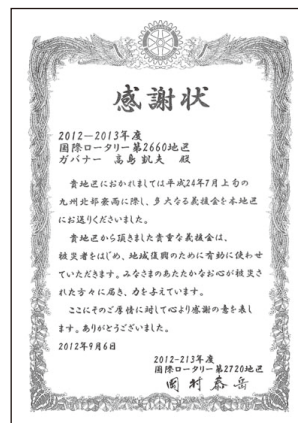
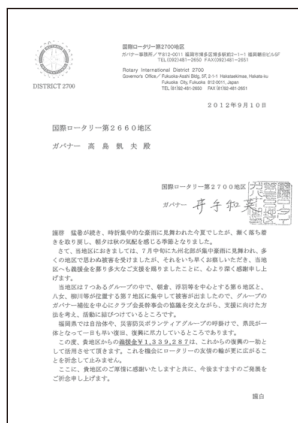
マッチング・グラント(MG)・(現)地区補助金(DSG)・国際親善奨学金・研究グループ交換(GSE)などのプログラムは、2012-13年度の実施で廃止となり、国際親善奨学金やGSEという名称は使えなくなります。

2013-14年度からは、2013年7月から有効の授与と受諾の条件に従って、グローバル補助金または(新)地区補助金(DG)などの補助金を利用してプロジェクトを実施できます。グローバル補助金の場合には、重点分野に関連するプロジェクトに限られますが、国際財団活動資金(WF)からのマッチングが受けられますので、より大きな金額をプロジェクトに利用することができます。(新)地区補助金(DG)については、金額の配分や申請方法などは地区の方針によりますので地区の委員会にご確認下さい。ロータリー平和フェロウシップは2013-14年度以降も継続します。

災害支援プロジェクト報告(第17回)

災害支援プロジェクト 委員長 岡部 泰鑑 (大阪城南RC)

九州北部豪雨災害支援金に対する礼状
支援金の総額は最終的に2,758,573円となりました。第2700地区と第2720地区にこの支援金を2分の1ずつ送金いたしました。両地区から下記のお礼状が届きました。



災害支援地区基金の状況(2012年10月10日現在)

【収入】

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	岡部年度からの繰越	708,892円	
2	大阪中之島RC	57,750円	
3	大阪城南RC	15,460円	
4	利息	5円	
5	大阪東南RC	500,000円	
6	大阪中之島RC	100,000円	
7	寝屋川IRC	37,000円	
8	大阪咲洲RC	30,000円	
9	大阪ユニバーサルシティRC	300,000円	
10	大阪城南RC	45,440円	
11	国際大会日本人朝食会余剰金	14,547円	
12	井上暎夫PG	30,000円	
13	寝屋川IRC	13,000円	
14	八尾中央RC	77,000円	
15	大阪帝塚山RC	100,000円	
	合計	2,029,094円	

【支出】

	地区基金支出内容	金額	備考
1	豊中RC	158,600円	寄付金一部返金
2	振込手数料	600円	
3	千里RC	650,000円	地区基金申請No.46
4	振込手数料	600円	
5	熊谷教材社 (八尾中央RC申請分)	150,000円	地区基金申請No.47
6	振込手数料	600円	
	合計	960,400円	

【残高】

	預金残高	金額	2012年10月10日現在
		1,068,694円	

米山奨学委員会/ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2012年8月末	全国寄付金合計額	283,552,985円(前年度比4.22%増)
	第2660地区寄付金合計額	11,823,750円(前年度比2.67%減)
	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2750地区	17,309,843円
	2. 第2760地区	16,934,200円
	3. 第2650地区	15,906,450円
	4. 第2770地区	14,931,000円
	5. 第2590地区	13,558,000円
	6. 第2580地区	13,503,653円
	7. 第2610地区	12,325,000円
	8. 第2660地区	11,823,750円
	9. 第2690地区	11,258,055円
	10. 第2710地区	10,768,971円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2012年8月)

氏名	回数	クラブ名
富島 俊治	2回目	大阪西北RC
奥野 武久	5回目	大阪西北RC
上田 宏二	6回目	大阪西北RC
古市 仁	6回目	大阪西北RC
針谷 紘一	4回目	大阪中之島RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2012年8月)

クラブ名	回数
新大阪RC	15回目
大阪中之島RC	12回目

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2012年8月)

氏名	クラブ名
梅原 一樹	大阪中之島RC
福家 達二	大阪東RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2012年7月)

氏名	回数	クラブ名
能口 武雄	5回目	大阪天王寺RC
谷口 光夫	1回目	新大阪RC
寺岡 龍彦	4回目	大阪北梅田RC
清水 宏一	1回目	大阪東RC
榎崎 正博	2回目	大阪東RC
新堂 友衛	1回目	大阪東RC
杉浦 嘉功	2回目	大阪東RC
近藤 治郎	3回目	大阪西北RC
隅防 嘉之	1回目	大阪西北RC

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2012年7月)

氏名	クラブ名
針谷 紘一	大阪中之島RC
嶽下 勇治	大阪中之島RC
中許 忠和	大阪東RC

2012年9月度 会員数・出席報告

IM組	クラブ名	7月期初 会員数	9月末会員数 全員	女性	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
I M 第 1 組	池田	36	35	2	1	2	-1	4	73.61	66.42
	池田くれは	29	29	2	0	0	0	3	85.42	81.19
	箕面	21	23	0	2	0	2	4	90.00	86.25
	箕面千里中央	23	23	0	0	0	0	4	93.15	84.44
	豊中	45	46	3	1	0	1	4	89.48	76.64
	豊中南	30	30	2	0	0	0	3	80.56	78.30
	豊中-大阪国際空港	19	19	0	0	0	0	4	69.01	67.69
	豊中千里	37	37	3	0	0	0	4	86.31	78.00
	小計	240	242	12	4	2	2		83.44	77.37
	I M 第 2 組	茨木	24	24	3	0	0	0	4	96.70
茨木東		39	39	4	0	0	0	4	87.06	76.18
茨木西		29	29	6	0	0	0	4	81.90	68.10
千里		36	38	0	2	0	2	4	88.16	81.17
千里メイプル		22	22	2	0	0	0	4	91.86	81.40
摂津		40	39	2	0	1	-1	4	90.20	73.31
吹田		62	60	8	0	2	-2	3	95.40	89.06
吹田江坂		38	37	2	0	1	-1	3	93.13	85.32
吹田西		47	48	2	2	1	1	3	100.00	90.75
高槻		50	51	6	2	1	1	4	89.27	81.53
高槻東	37	37	1	1	1	0	4	98.46	93.40	
高槻西	22	22	0	1	1	0	4	90.91	85.23	
小計	446	446	36	8	8	0		91.92	82.64	
I M 第 3 組	大東	44	44	0	0	0	0	4	100.00	92.14
	大東中央	26	26	10	0	0	0	4	90.11	80.72
	枚方	38	38	0	2	2	0	4	86.11	79.17
	門真	29	31	6	2	0	2	4	90.00	75.83
	交野	31	31	1	0	0	0	4	82.44	76.25
	香里園	14	14	0	0	0	0	4	94.65	82.15
	くずは	57	57	0	1	1	0	4	78.08	67.82
	守口	41	41	3	0	0	0	4	85.62	73.19
	守口イブニング	26	26	4	0	0	0	4	88.46	80.77
	寝屋川	40	40	5	0	0	0	3	90.60	69.23
四條畷	11	11	0	0	0	0	4	97.50	97.50	
小計	357	359	29	5	3	2		89.42	79.52	
I M 第 4 組	東大阪	67	69	0	2	0	2	4	86.50	75.82
	東大阪中央	35	35	0	0	0	0	3	94.75	77.03
	東大阪東	59	60	3	1	0	1	4	80.26	68.61
	東大阪みどり	26	27	1	1	0	1	4	80.56	73.15
	東大阪西	31	31	0	0	0	0	3	92.49	70.33
	大阪柏原	28	29	2	1	0	1	4	91.71	87.08
	大阪ネクスト	16	16	6	0	0	0	4	59.38	46.88
	八尾	64	64	0	2	2	0	4	76.39	74.79
	八尾中央	17	17	1	0	0	0	4	90.69	87.66
	八尾東	23	23	1	0	0	0	4	79.61	73.69
小計	366	371	14	7	2	5		83.23	73.50	

IM組	クラブ名	7月期初 会員数	9月末会員数 全員	女性	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
I M 第 5 組	大阪中央	45	48	5	3	0	3	4	89.59	76.40
	大阪堂島	32	33	1	1	0	1	3	82.82	78.78
	大阪北	195	199	0	5	1	4	4	79.32	69.53
	大阪北梅田	51	51	3	0	0	0	3	79.08	66.67
	大阪西	70	72	0	2	0	2	3	87.30	79.43
	大阪大淀	54	54	0	0	0	0	4	80.49	75.12
	大阪リバーサイド	36	38	7	2	0	2	4	85.36	68.61
	大阪西北	53	53	0	0	0	0	4	90.95	83.01
	大阪そねざき	36	36	22	0	0	0	4	100.00	88.94
	大阪梅田	27	27	0	0	0	0	4	80.10	75.67
大阪梅田東	26	28	0	2	0	2	4	86.60	75.88	
大阪ユニバーサルシティ	29	30	5	1	0	1	4	88.39	81.25	
小計	654	669	43	16	1	15		85.83	76.61	
I M 第 6 組	大阪	255	260	0	6	1	5	4	74.02	59.02
	大阪東	118	120	0	4	2	2	4	92.70	76.53
	大阪東淀ちゃやまち	31	32	3	1	0	1	2	75.00	66.67
	大阪城東	42	43	5	1	0	1	4	87.36	83.54
	大阪中之島	29	28	2	0	1	-1	4	99.11	66.06
	大阪大手前	36	36	2	0	0	0	4	87.88	73.56
	大阪城北	53	53	3	0	0	0	4	80.21	77.76
	大阪天満橋	67	68	0	1	0	1	4	87.40	79.94
	大阪鶴見	34	35	0	1	0	1	4	89.83	83.30
	大阪-淀川	33	33	3	0	0	0	4	93.93	80.45
新大阪	34	34	0	1	1	0	4	80.72	78.57	
小計	732	742	18	15	5	10		86.20	75.04	
I M 第 7 組	大阪フレンド	22	23	3	1	0	1	4	95.45	85.07
	大阪本町	25	27	2	2	0	2	3	98.55	90.20
	大阪御堂筋	33	33	0	0	0	0	4	86.29	70.16
	大阪南	142	144	0	2	0	2	4	82.51	70.64
	大阪難波	46	46	0	0	0	0	4	89.07	72.28
	大阪なにわ	25	24	2	0	1	-1	4	87.87	76.79
	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	84.68	81.33
	大阪西南	99	99	19	0	0	0	4	100.00	68.94
	大阪船場	40	40	0	0	0	0	3	92.67	89.67
	大阪心斎橋	36	37	0	1	0	1	4	91.89	80.50
大阪うつぼ	31	31	4	0	0	0	4	100.00	93.18	
小計	515	520	33	6	1	5		91.73	79.89	
I M 第 8 組	大阪平野	31	31	3	0	0	0	4	94.63	87.20
	大阪イブニング	16	17	4	1	0	1	4	83.82	69.12
	大阪城南	52	53	0	1	0	1	4	98.48	85.27
	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	84.21	77.63
	大阪天王寺	59	59	0	0	0	0	4	91.20	82.87
	大阪帝塚山	55	55	4	0	0	0	4	74.46	72.09
	大阪東南	49	49	0	0	0	0	4	93.88	68.88
	大阪アーバン	28	28	8	0	0	0	4	67.86	64.29
	小計	309	311	20	2	0	2		86.07	75.92

合計	クラブ名	7月期初 会員数	9月末 会員数	女性 会員数	入会者数 累計	退会者数 累計	増減	平均 出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3619	3660	205	63	22	41	87.2	77.6

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

嶋中 完治 会員(くずはRC)

2012年9月16日逝去(享年96歳)

会長、副会長、理事、SAA、社会奉仕委員長、
国際奉仕委員長、職業奉仕委員長、広報委員長、
親睦委員長、ロータリー情報委員長、
会員増強委員長、米山奨学委員長
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

三木 秀雄 会員(摂津RC)

2012年9月20日逝去(享年89歳)

会長、理事、職業奉仕委員長、
社会奉仕委員長、国際奉仕委員長
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

菅澤 龍二 会員(大阪西南RC)

2012年10月2日逝去(享年84歳)

出席委員長、会報委員長、職業分類委員長
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

田中 秀和 会員(大阪南RC)

2012年10月4日逝去(享年63歳)

国際交流委員長、職業奉仕委員長、
社会奉仕活動委員長、SAA
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

●池田ロータリークラブ 事務局・例会場移転

事務局：〒563-0043 池田市神田1-18-10 旧 池田市教育研究所2F (2012年10月19日より)
(TEL、FAX、メールアドレスは変更ありません)

例会場：マスマ荘 (2012年10月10日より)

〒563-0041 池田市満寿美町2-28 TEL：072-752-3355(転送TEL)

●池田くれはロータリークラブ 事務局移転

〒563-0043 池田市神田1-18-10 旧 池田市教育研究所2F (2012年10月21日より)
(TEL、FAX、メールアドレスは変更ありません)

●お詫びと訂正

月信10月号10ページに間違いがありましたのでお詫びして訂正いたします。

千田 忠司 (大阪難波RC) (誤)マルチプル・ポール・ハリス・フェロー → (正)ベネファクター

ガバナーエレクト業務開始のご案内

10月1日よりガバナー・エレクト業務をスタートいたしました。

●所在地：〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F

電話：06-6264-2660 FAX：06-6264-2661 E-mail：gov@ri2660.gr.jp

●執務時間：月曜日～金曜日 9:30～17:00 ※土・日・祝は休ませていただきます。

●事務局員：栗正 久美

ガバナーエレクト 福家 宏(八尾中央RC)

次年度地区代表幹事 山田 正雄(八尾中央RC)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会の講演と新着資料より

- ◎「ロータリーと戦略計画」
三木 明 2012 6p (D.2720)
 - ◎「ロータリーの進化について」
重田 政信 2012 8p (D.2790)
 - ◎「ロータリーの心と原点」
廣畑 富雄 2012 10p (D.2740)
 - ◎「善き仲間と共に」
中村 靖治 2012 6p (D.2740)
 - ◎「ロータリーの心を学ぶための教育の場にもう一度作り変えていく」
上野 孝 2012 6p (D.2740)
 - ◎「私が歩みし職業奉仕」
藤川 享胤 2012 13p (D.2670)
- [上記申込先:ロータリー文庫]
- ◎「日本ロータリーの曙」
田中 毅 源流の会 2012 63p [申込先: 田中 毅 FAX : (06)6491-9899]
 - ◎「発達障害はどこでつまずくのかVol.3DVD」
D.2680 2012 [申込先: D.2680 FAX : (078)304-2681]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時～午後5時 休館: 土・日・祝祭日

月信編集委員会からのお願い

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備用品に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みお待ちしております。

2012-2013年度 国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	高島 凱夫
地区代表幹事	村橋 義晃
地区副代表幹事	杉村 雅之
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美 春名 志保 納多 寿恵子

●所在地・電話・FAX・E-mail

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

●ホームページアドレス

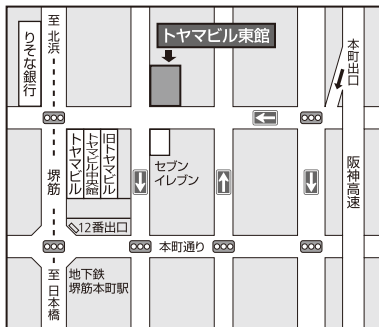
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30～17:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始 2012年12月29日(土)～2013年1月6日(日)



ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多36名、詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

※地下鉄堺筋線 堺筋本町 12番出口すぐ

月信編集委員会

- | | | | |
|----------|-------|---------|-------|
| ●ガバナー | 高島 凱夫 | ●地区代表幹事 | 村橋 義晃 |
| ●地区副代表幹事 | 杉村 雅之 | ●担当地区幹事 | 西田 末彦 |
| ●担当地区幹事 | 梅原 一樹 | ●事務局長 | 今井 貢二 |



Peace
Through Service
奉仕を通じて平和を

地区大会

2012-13年度 国際ロータリー第2660地区

健全な心と体の育成を
～地球の平和のために～

第1日目 2012年12月7日(金)

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

- 開会式(5階メインホール) …… 13:00 開会
・講演「ロータリー綱領の和訳について」 …… 鳥居 滋 氏
- 分科会(10階会議室) …… 15:00 開会
・分科会Ⅰ [会長・幹事部門:人間にとって障害とは何か] …… 正高 信男 先生
・分科会Ⅱ [新世代部門:臓器移植とオカルトの知] …… 澤井 繁男 先生
・分科会Ⅱ [新世代部門:これからの若者に期待したい事—HIV/AIDS、
飲酒、喫煙の実態報告から] …… 白阪 琢磨 先生
・分科会Ⅲ [米山奨学・R財団部門]
・分科会Ⅳ [新入会員部門]

リーガロイヤルホテル

- 家族の集い(ダイヤモンドルーム) …… 15:00 開会
・「北の大地に魅せられて」 …… 菊池 晴夫 氏
- RI会長代理歓迎晩餐会(光琳の間) …… 18:00 開宴

第2日目 2012年12月8日(土)

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

- 本会議(5階メインホール) …… 13:00 開会
- 特別講演(5階メインホール)

「iPS細胞研究の進展」

京都大学教授 京都大学iPS細胞研究所 所長 山中 伸弥 教授

※友愛の広場は、上記、両日ともに12:00より大阪国際会議場(グラン
キューブ大阪)5Fホワイエにて実施しております。

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

国際ロータリー 第2660地区
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL. 06-6264-2660 FAX. 06-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660
Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 JAPAN
TEL. +81-6-6264-2660 FAX. +81-6-6264-2661
E-mail: gov@ri2660.gr.jp